



川越志政会 **樋口直喜**
 県下における川越市の役割 23



問 県下および周辺地域における川越市の役割や位置付けを意識した上で、周辺地域への影響も踏まえたまちづくりが必要ではないか。

答 **総合政策部長** 地方公共団体を取り巻く地域課題は、少子高齢化や人口減少が進行する中で、多様化や高度化などしており、その解決が困難となっているものもある。本市は、県を代表する都市の一つで、国や都道府県から権限委譲を受けた県内初の中核市として20年以上にわたって地域の实情に応じた行政運営を行ってきた実績があるので、広域的かつ中長期的な視点を持って、他団体と協力したまちづくりを行うことも重要であると考えます。

【調】県下における川越市



政策フォーラム **片野広隆**
 ハラスメントを許さない。 24



問 特定議員による市職員へのハラスメント事件から6年が経過。セクハラやパワハラをはじめあらゆるハラスメントを許さない「ハラスメント撲滅宣言」をする考えは。

答 **市長** ハラスメントを発生させない、許さない職場づくりに取り組んできたが、宣言により対外的にアピールすることで、職員の意識が向上し、ハラスメントのさらなる抑止効果となることを期待される。

ハラスメントのない職場環境を実現するために、ハラスメント根絶に向けた宣言を行うことも、効果的な方法の一つとして認識しているため、今後検討していく。

【調】ハラスメント根絶



政策フォーラム **高橋剛**
 米農家の所得向上実現を 25



問 令和4年の水田作経営における全国平均の農業所得は1万円と厳しい経営が続いている。市は、今後どのように米農家の所得向上を進めていくか。

答 **産業観光部長** 所得向上に当たっては、生産性の向上を図るほ場整備や、担い手等への農地の集積・集約が必要であると考えます。耕作面積の拡大には、ドローンを活用した農薬散布等のスマート農業も有効であるため、研修会を開催するとともに、機械導入等への補助を実施していく。さらに、転作を行った場合、一定の農業所得を確保する国補助事業や市の補助金の活用を推進することで、安定した稲作経営が持続できるよう支援していく。

【調】米の価格と米農家 【調】化学物質等への対応



川越志政会 **桑真美子**
 マンションの二つの老い 26



問 分譲マンションは建物の老朽化と居住者の高齢化が進行し問題となっている。自治体レベルの対応が迫られる中、管理の適正化について本市はどのように関わるのか。

答 **都市計画部長** 川越市マンション管理適正化推進計画では、市内マンションの実態把握、管理計画認定制度の運用、マンション管理相談等の施策に取り組むこととしており、マンション管理士による相談やアドバイザー派遣、マンション管理に関する定期的な情報提供等を実施している。今後も、管理の適正化に向けた管理組合による自主的管理を促す取り組みの推進などにより、良好な住環境の確保を図っていきたいと考えている。

【調】マンション諸問題と役割



川越志政会 **栗原瑞治**
 地域防犯力の強化 27



問 見守り自動販売機は費用負担なく導入でき、地域防犯力強化に有効である。警察・取扱事業者と協定を結び、公園など防犯上重要な場所への設置促進をすべきでは。

答 **市民部長** 見守り自動販売機は、導入費用やデータ管理の負担が少ないことから、防犯カメラを設置する際の一つの手法として、庁内に周知をしていくとともに、地域において見守りの目が増えることで、地域の防犯力の強化につながるものと考えられることから、自治会等の地域団体への周知や警察および取扱事業者との協定の必要性も含め検討していきたいと考えている。

【調】地域防犯力の強化



無所属 **川口啓介**
 補助金の検証 28



問 所管課による補助金の検証が難しい場合には、外部組織の活用等を検討することも必要と考えるが、見解を伺う。

答 **財政部長** 外部の専門的な視点から事務事業の適法性や妥当性について判断してもらうことも非常に有効であると考えているが、まずは、補助金に関するガイドラインに基づき、所管課が主体となって定期的実施する体制を構築していく必要があると考えている。

そのため、当面は、本ガイドラインに基づいた取り組みを推進するとともに、進捗や目的への達成状況を把握し、改善に努めていきたい。

【調】補助金交付制度の検証